

議会運営委員会会議録

(令和8年6月30日)

愛 南 町 議 会

愛南町議会議会運営委員会会議録

本日の会議 令和8年6月30日（火）
招集場所 議員協議会室

出席委員

委員長	原 田 達 也	副委員長	鷹 野 正 志
委員	尾 崎 恵 一	委員	嘉 喜 山 茂
委員	池 田 栄 次	委員	金 繁 典 子

欠席委員

なし

出席委員外議員

議長 吉 田 茂 生

傍聴委員外議員

なし

職務のため出席した者

議会事務局長	土 居 章 二	主幹	尾 川 美 保
--------	---------	----	---------

説明のため出席した者

なし

本日の委員会に付した案件

【協議事項】

- (1) 先進地視察後の意見交換等
- (2) その他

開 会	15時45分
閉 会	16時53分

○**鷹野副委員長** 定刻になりましたので、ただいまから議会運営委員会を開会いたします。

まず最初に委員長挨拶をお願いいたします。

○**原田委員長** 今日は議員研修、そして全員協議会と、大変お疲れのところ、議運、今から開催いたしますが、先日の、上島町そして小松島市の視察研修、大変お疲れさまでした。大変参考になったのではないかと思います、その前にも宇和島市と宿毛市を視察したわけですが、その4か所の視察を踏まえて、今後、愛南町としてどういう方向に持っていくのか。今日はそこら辺りを、視察を踏まえた意見交換ということで、どのような方式が一番愛南町に合っているのかを今日は皆さんで協議していってもらいたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

○**鷹野副委員長** ありがとうございます。

それでは、これからの議事進行につきましては、委員長をお願いいたします。

○**原田委員長** それでは協議事項といたしまして、まず、先進地視察後の意見交換等ということで、タブレットに視察の比較とか、場所による、場所ごとの比較ですね、そういうことを事務局でまとめていただいておりますので、それを見ながらちょっと検討をしていきたいと思います。

事務局も何か説明をお願いします。

土居事務局長。

○**土居事務局長** 事務局のほうから、先週行いました上島町・小松島市の先進地視察、それより従前行いました宿毛市・宇和島市の先進地視察を踏まえまして、それぞれの比較表なり、資料にまとめておりますので、そちらのほうを説明させていただきます。

まず、各町市議会の令和7年もしくは令和6年の9月、決算議会の日程をそれぞれ各市町議会ごとにカレンダー形式で提示しております。こちらにつきましてはまた、各委員さんのほうで御確認いただいたらと思います。

一番最後に、議会運営委員会先進地視察比較表という資料がございます。こちらのほうを開きください。こちらについては、宿毛市・宇和島市・上島町・小松島市のそれぞれ委員会制による予算・決算審議について、比較表にまとめたものでございます。

めくっていただきまして、先進地視察の調査報告と論点を事務局のほうで整理いたしましたものを提示しております。まず1番目に、先進自治体の取組詳細と特徴ということで、まず1番目、宿毛市につきましては、効率性と議員関与を実施する分科会方式ということで、運営の工夫といたしましては、総務文教・産業厚生との2つの分科会に分割するが日程を重複させない、これにより担当外の議員も傍聴及び発言（委員会の許可制）ができる体制を確保しております。メリットといたしましては、執行部が何度も同じ説明をする必要がなく効率的である、課題といたしましては、特に大きな課題はなく、対応タブレットにより完全ペーパーレス化を達成しております。

2番目といたしまして、宇和島市におきましては、決算における徹底した事前通告制ということで、運営の工夫といたしましては、決算審査は2つの特別委員会、一般会計・特別会計と公営企業会計に分割し、事前通告、執行部からの答弁書配付、理事者説明、一問一答という、緻密なプロセスを採用しております。メリットといたしましては、事前に答弁書が配付されるため、より慎重で深い審査が可能となります。会場・対応といたしましては、課長級が答弁を行っているようです。理事者控室を確保し、事務局が入替えを調整しております。

3番目、上島町でございます。事前調整でスピードと深さを両立する全議員方式でございます。運営の工夫といたしましては、議員数が少ないため分科会は設置せず全員で審査を行う、事前に質問事項を提出させ、事務局議員間で質疑の重複を調整・確認した上で審査に臨んでおります。メリットといたしましては、事前質問が執行部と共有されているため、答弁がスムーズであり、全議員での一問一答ながら、1日から2日で審議は終了いたします。会場につきま

しては、委員会室がないため本会議場で行い、CATVで放送しております。

最後になりますが、小松島市でございます。会議規則に沿ったルールのある全体審査、運営の工夫といたしましては、全議員での審査による審議の長期化や空転を防ぐため、会議規則の同一議題につき同一質問は4回までを委員会でも準用し、委員長が厳格に差配しております。メリットといたしましては、全議員で情報認識を共有できる、デメリットといたしましては、議論が白熱すると定時を過ぎたり、休会日に食い込んだりするリスクがございます。会場につきましては、コロナ禍以降、会場を本会議場とし、1課ごとの入替え制で運営をしております。

2ページ目を御覧ください。愛南町議会が検討すべき3つの重要論点を整理いたしました。先進地の事例から愛南町が現在の勉強会（全員協議会）プラス本会議制から移行する際、委員会において議論すべきポイントを、次の3点に集約いたしました。

論点1といたしまして、現行の事前勉強会をどうするか。先進地の見解といたしましては、委員会制（公式な場）へ移行する場合、これまでの全員協議会での勉強会は「不要（廃止・縮小すべき）」という意見が目立ちます。宿毛市や小松島市などからの質疑応答のシートに書いておりました。理由につきましては、執行部の二重拘束（説明の重複）を防ぐためでございます。上島町のように、議員全員協議会では主要事業の概要説明を受けるのみにとどめ、質疑は公式な委員会に一本化するという切り分けが現実的でございます。

論点2といたしましては、質問回数無制限のルール化（空転リスクへの備え）。先進地の見解といたしましては、現在の愛南町は勉強会で回数無制限としておりますが、公式な委員会（全議員参加型）にした場合、審議が際限なく延びるリスクがございます。上島町案といたしましては、事前質問通告を徹底し、重複をあらかじめ排除することで時間短縮を図る。小松島市案では、会議規則を準用し、明確に「同一議案につき、同一質問は4回まで」と発言回数に制限をかけるというところでございます。

論点3といたしましては、会場（議場）の活用と執行部の入替え運用の継承です。先進地の見解と愛南町の優位性につきましては、全議員参加型での審査を行うに当たり、上島町や小松島市でも委員会室ではなく本会議場（議場）を会場として活用しております。愛南町におきましては、既に現行の勉強会を議場で行っているため、この議場を活用するスタイルは先進地の取組とも完全に一致しており、極めて効率的であることの裏づけと言えます。委員会制へ移行した後も、現在の議場での開催をそのまま継続することが最もスムーズであると考えます。また、執行部の入替えにつきましては、先進地では1課ごとの完全入替え制で時間管理を行う事例が見られておりましたが、愛南町では既に「款別・会計ごとに、関係課の職員が随時入れ替わる」という独自の効率的な運用が定着しております。委員会制への移行に当たっては、他市町のやり方をそのままねして1課ごとの入替えに変えてしまうと、かえって款をまたぐ事業の審議がばらばらになり、逆効果になるおそれがございます。

3ページ目に移ります。したがって、現在愛南町が既に行っている「議場の活用」と「款別・会計別の随時入替えノウハウ」を100%維持しながら、そのまま公式な委員会へ引き継ぐ運用がベストであると考えられるとまとめております。

以上です。

○**原田委員長** ただいま事務局より説明がございました。事務局のほうで、こうやってまとめてもらっております。

今の説明を聞いて、やはりこう、これからの愛南スタイルというのを決めていくべきだと思いますが、それぞれの自治体のメリット等を取り入れて、やはり愛南町としてどういう方向に行くか、ちょっと皆さんでそれぞれ協議をしていただきたいと思うんですが、まずどうでしょうかね、うん、愛南町としてこれがいいんじゃないかという御意見があればそれぞれ伺いたいんですが。

嘉喜山委員。

○嘉喜山委員 その前に、ちょっと休憩取って、ざっくばらんに意見交換したいんですけど、いかがですか。

○原田委員長 じゃあ、暫時休憩します。

(休憩)

○原田委員長 休憩前に引き続き会議を開きます。

それでは、皆さんいろいろと意見が出たんですが、できたら9月という案もあったんですが、ちょっと日程的には厳しいということで、まあ12月議会から、補正でまあ、一応その事前説明を執行部のほうからやっていただいて、それから始めるということでよろしいですかね。

(「はい」と言う者あり)

○原田委員長 その方向でちょっと調整をしてみますので。また執行部との、意見を聞かないといけないので。

じゃあ事務局、それでいいですかね。

○土居事務局長 はい、分かりました。

○原田委員長 よろしくお願いします。

あと何かないですかね、その他で。

金繁委員。

○金繁委員 先ほどの全協で出ていた、高校生、未来議会の、議会からの関わりというか接点をどうするか、ありましたね。

○原田委員長 えっと、あれ、17、17日やったんですかね。

土居事務局長。

○土居事務局長 先ほど開催いたしました議員全員協議会でも説明いたしましたが、「あいなん未来議会2026」、高校生議員への事前説明は、7月17日、金曜日、14時からとなっております。この日程は決まっておりますので、この日程のときに、愛南町議会として関わることもここに盛り込んでいければ一番スムーズなのかなというふうには考えております。

以上です。

○原田委員長 前は議長がその説明会には参加して、どういう内容、いかその説明したんですかね、私はちょっと分からないんですけど。

土居事務局長。

○土居事務局長 昨年度の実績を申しますと、高校生議員をこの協議会室に、集合していただきまして、事務局のほうで、「議会とは」というようなパワーポイントと、議会のホームページの、そういう議会中継の模様を見せながら説明いたしまして、例えば一般質問とかで、質問して実際に事業化になったこととか、そういったこととかも、高校生からの、高校生や町内の小学校からの提案で事業化をしたような例が私の前職のところでありましたので、その辺も説明した後に、議場に移って、実際に高校生議員が座る議席に座っていただいて、どういう感じかっていうのを体験していただきました。

以上です。

○原田委員長 まあ、そういった説明会なんですけど、今日の全協でも、何かもっと一般質問の、もうちょっと踏み込んだ、何か提案というのは……

金繁委員。

○金繁委員 昨年度、お疲れさまでした。せっかくこう来てくれたときに、議員の有志なり、議運のメンバーなり、分からないですけども、議員も何名か参加して、事務局がその「議会とは」とかを説明してくださった後に、高校生の皆さんから、一般質問でどうしたらいいんですかとかなんな質問があれば、ぜひ答えて、議会の案内もやっぱり議会として、議員と一緒にできたらなあと思うんですけど、いかがですかね。まあそれを議運のメンバーとするのか、それとも手を挙げた議員とするのか、分からないんですけど、決められたら。もし可能なら、できたらな

と思います。

○原田委員長 どうでしょうか、今、金繁委員から……

尾崎委員。

○尾崎委員 任意の参加ということで、先ほど全協で聞いております。ですからこの説明会に参加を希望する議員さんをまず確認していただいて、出れる人が決まった、そして当日来て、そこで何がしかの関わり方も、ちょっと準備したり、説明やったらどうかと思います。

○原田委員長 それでよろしいですか。

(「はい」と言う者あり)

○原田委員長 じゃあ参加したい議員はどのようにあれしましょうかね。

(「L o G oチャットで」と言う者あり)

○原田委員長 L o G oチャットで。それで流してもらえますかね。

はい、鷹野副委員長。

○鷹野副委員長 それ言うのは、もう議運だけに限って。

○原田委員長 いや、違う。

○鷹野副委員長 全員やろ。

○原田委員長 うん、そう。

○鷹野副委員長 ここだけに限ったらまた問題があるいうて言われますので。その関わる仕事いうか、すんなり立ってそのまま見よってもええし、何か高校生から聞かれたらアドバイスのようなうですよっていう説明をするなり、その程度なんですかね、関わるっていうのは。その辺ちょっと。

○原田委員長 土居事務局長。

○土居事務局長 鷹野副委員長がおっしゃられたように、例えば事務局のほうで事前説明をすることで、行った後に例えば、まあこれは高校との相談になるんですけど、高校生議員から実際の町議会議員の皆様へこう、質問とか、レクチャーを受けたいこととかを募集するなり、考えといてにしようとして、事務局の説明した後にそういうこう、質疑応答やないですけどレクチャーの時間を設けるのもいいんじゃないかなあとは思っていますので、そこは要相談ということでお願いします。

○原田委員長 金繁委員。

○金繁委員 そうですね、ぜひ高校生の皆さんに聞いていただければ有意義なね、充実したやり取りができると思います。

私、提案した目的は、理事者の側は町政に高校生の若い人の意見を聞きたいっていうのももちろんあると思うんですけど、私その議会としては、やっぱりその若い人が、まあここもね、20代、30代いないですけども、やっぱり政治に興味を持ってくれて、若い世代が議員になってくれるっていうところも、議会として目指せていたらなあと思っていますので、そんなことが少しでも貢献できたらなあと思います。

○原田委員長 ほかに意見ないですかね。

嘉喜山委員。

○嘉喜山委員 今後の、その12月施行に向けたスケジュールというか、議員全員への説明っていうのは。いや、そこを確認したいなと思って。

(発言する者あり)

○原田委員長 まあこれ、全協でまた皆さんに周知をせんといいんと思うんで。スケジュールと言うても、ちょっとこれ確認することがあるでしょう。

土居事務局長。

○土居事務局長 直近の委員会等の予定、スケジュールを言いますと、7月17日、先ほど言いました「あいなん未来議会2026」事前説明、午後からなんですけど、午前中に臨時会の議運

があります。そのときにお話しいただいてもいいのかなあというふうにはちょっと思います。

臨時会が7月23日、木曜日になっておりますので、先ほどの全協でおっしゃられた、視察先の海士町と境港を足したスケジューリングであったりとか、費用のほうを皆さんに再度説明して、というような予定は決まっております。ということで、もう6月も今日で終わりですので、7月中旬にはなりますが、次回の議運で、ある程度皆さん考えていただいといて、12月に向けたスケジューリングとか、事務局のほうでもちょっと考えますので、皆さんでお考えをおまとめいただいたらと思います。

以上です。

○原田委員長　ということですので、はい。

ほかにはないですかね。

(「は」と言う者あり)

○原田委員長　ないようでしたら、閉会といたします。

○鷹野副委員長　長時間にわたり、皆様ありがとうございました。まあ、今後の予算・決算、特別かあれか、委員会に向けまして、皆さんまた積極的な、スムーズな議会運営になりますよう御協力をお願い申し上げまして、今日の議会運営委員会を終了いたします。

委員長